



カーブがきつく前方を見渡しづらい

総事業費に9億3000万円を見積もっている。

設計はシビテックが担当。21年度は280万円を施工した。

残り1・2キロのうち、約1キロの改良に23年度から入る。曲線半径55メートルのカーブを同160メートルに改

に入札する。

一造、2階建ての建物のうち、実施設計は23年2月

旧国道大谷橋補修へ

蘭越町が7月にも指名

【小樽】蘭越町は、大断面修復などに取り組み、11月の完成を目指す。概算工事費は1200万円としている。

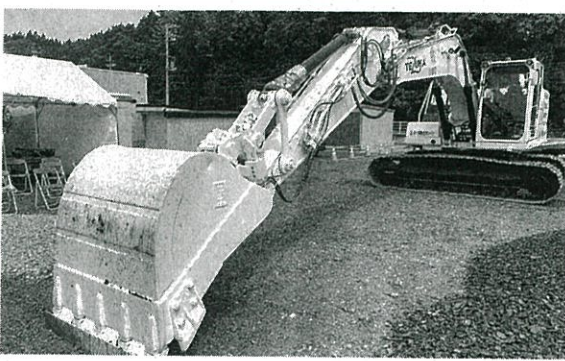
張碓小で奉仕グラウンド整備
日本道路小樽
【小樽】日本道路小樽営業所は9日、小樽市立張碓小でグラウンド整備に取り組んだ写真。



災害対応へ建設業の使命果たす

迅速な災害対応を。

手塚産業(本社・木古内)はこのほど、無人で作業できるリモートコントロール仕様の油圧ショベルを導入した。2021年6月に乙部町で発生した岩盤崩壊災害を教訓に、頻発する自然災害に立ち向かおうと新たな体制を整えた。



油圧ショベルを扱える免許を持ち、運転技術があれば操作可能だ。他社製品と比べ通信可能距離が400メートルと振り返る。

リモコン操作で

く、遅延が少ないのが決め手となった。安全装置が充実していて衝突事故を防げるほか、作業内容に応じたアタッチメントの交換が短時間でできるという。

導入のきっかけは、21年の国道229号乙部町

今後は重機オペレーターを対象に研修をして、操作技術の向上を図る考え。手塚社長は「コストはかかったが備えあれば憂いなし。建設業に課せられた使命を果たしたい」と話している。

補修調査設計は北海道土木設計が担当した。

2010年から市内小中学校で地域貢献活動を展開している。今回は作業員8人が参加。グラウンドの凹凸部分に赤土をグレーダーで敷きならした後、ローラーできれいに転圧した。青山雅敏所長は「今後も継続したい」と話した。

手塚産業 無人油圧ショベル導入

日本キャタピラー社の製品で、道内初導入。既存の油圧ショベルに受信機や制御装置を取り付ける方式で、リモコンを使い乗り込んだ時と変わらない操作感で作業でき

車体色は白と黄色を基調にし視認性を高めた

組みとして整備する。整備場所は新町19の3。事業費の内訳は設計費748万円以内、施設設備導入費1億9992万5000円以内としている。

プ、電話0145(27)2486まで。

ら9月28日までのおおむね40日間。取得可能な資格は、免許が大型特殊、技能講習が車両系建設機械、玉掛け、小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、ガス溶接、特別教育がアーク溶接、自由研削砥石の取り換え、フルハーネス型墜落制止用品等について、

定員7人。受講料や資格取得費用はかからない。受講者には受講1日につき、2200円が給付される。応募は30日まで、面談した上で受講者を決定する。

円追加

河川の管理・整備促進
河川環境整備(33万円)▽軍川下流排水整備(3000万円)
一般住宅の適正管理

施設設置事業者を募集

厚真町プロポ
最先端デジタル園芸

厚真町プロポ
最先端デジタル園芸
園芸施設設置事業者を募集

【苦小牧】苦小牧地域職業訓練センター運営協会は、就職水河期世代の就業を支援する研修の受

【苦小牧】苦小牧地域職業訓練センター運営協会は、就職水河期世代の就業を支援する研修の受

【苦小牧】苦小牧地域職業訓練センター運営協会は、就職水河期世代の就業を支援する研修の受

【苦小牧】苦小牧地域職業訓練センター運営協会は、就職水河期世代の就業を支援する研修の受

【苦小牧】苦小牧地域職業訓練センター運営協会は、就職水河期世代の就業を支援する研修の受

りなく省力化に挑戦する